

人々の健康を守る
「未来の医療」を創り出すために
ご協力ください。

未来の
治療法

未来の
治療薬

未来の
診断法

研究及び医薬品・医療機器などの開発のために医師や国内外の企業・研究機関が
「あなたの診療情報」を使わせていただくことに、ご協力をお願いします。

「未来の医療」を創り出す
「阪大病院データベース」を開始しました。



阪大病院データベース

もくじ

- P2 あなたの診療情報を
利用・活用することへの協力をお願い
- P3 同意をお願いする内容
- P4 この同意の対象となる情報
- P6 データを利用・活用する方法
- P8 データを提供する際に情報を保護するために取られる手段
個人情報保護法等の遵守
同意の撤回をしたいとき
- P9 Q & A
- P11 アセント（おおむね7～9歳）
- P13 アセント（おおむね10～15歳）
お問い合わせ先（裏表紙）



あなたの診療情報を 利用・活用することへの協力をお願い

この文書は、当院が、あなたの診療に関する情報（※1）を、
広い範囲の医学研究及び医薬品・医療機器などの開発や商品化のために
利用・活用することについて（※2）、
あなたから同意をいただくことを目的にしています。

※1 詳しくは P3～P4、「同意をお願いする内容」をご覧ください。

※2 詳しくは P6、「データを利用・活用する方法」をご覧ください。

本プロジェクトの責任者

大阪大学医学部附属病院

病院長

阪大病院を受診する皆様にご協力をお願いしております。

同意をお願いする内容

当院は、みなさまによりよい治療を提供するために、医学の研究開発に力を入れています。の中には、病気の原因を探る研究や、病気の治療薬や治療方法の開発などがありますが、いずれもよりよい治療には不可欠です。

最新の科学技術を用いた研究開発を当院だけで行うことは難しく、民間企業・国の行政機関や地方自治体・他の大学や研究機関(いずれも海外を含みます。)と一緒に進める必要があります。

そこで、当院はこうした目的のために、しっかりとした管理の下、あなたの診療情報を利用・活用するために、民間企業・国の行政機関や地方自治体・大学や研究機関などの第三者に提供することについての同意をお願いしています。同意をするかどうか、よくお考えいただき、自由な意思で、別途お渡しする「同意確認書」に記入してください。

より詳しい内容については、以下の項目や当プロジェクトに関するウェブページもお読みください。



阪大病院データバンク

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-aim/databank/>

この同意の対象となる情報

当院で過去に取得した、あるいは、今後取得するあなたの診療に関する情報のすべてです。また、提供データにあなたやあなたのご家族、パートナーの名前や住所、電話番号、メールアドレスが含まれることはありません。



提供される情報

患者基本情報	年齢、性別など
病歴	病歴、受診歴、診断名など
検査結果	血液検査、尿検査、心電図、病理検査、その他の検査結果
画像診断	レントゲン、CT、MRI、超音波検査、内視鏡検査、血管撮影、その他の画像と報告書
治療	治療内容（治療計画、予後、合併症、再発の有無も含みます）、手術内容、処方薬や注射の種類や量
診療報酬に関する情報	保険診療制度や診療群分類包括評価DPC情報とよばれる患者さんが受ける診察や検査などの医療行為の内容、そしてそれらに対して公的保険制度で支払われる医療費などの情報
その他の電子カルテの内容	医療従事者が音声で入力する医療記録なども含みます



提供されない情報

あなたやあなたの関係者（ご家族・ご親族、パートナー、ご友人）の名前・住所・電話番号・メールアドレス等の連絡先情報

健康保険の保険者番号や被保険者記号・番号、生体認証のための顔や指紋の情報、あなた本人を識別できる詳細な遺伝子情報など、それ自体が個人の特定につながる情報



データを利用・活用する方法

当院は、当院の内外から診療情報を用いた研究開発の提案を受けつけます。その場合、「情報活用審査委員会」の厳格な審査を行い、承認された研究開発計画のみ、診療情報データの提供と利用・活用を認めます。

「情報活用審査委員会」の委員は、当院や当院以外の医師、法律や倫理の専門家、医療情報の専門家、一般市民の方などで構成されています。診療情報データを大学や企業などの第三者に提供する場合は、研究開発計画や、提供先の情報管理の体制等を審査し、提供後も目的外利用などの不適切な利用がないか、適正に利用されるのかを監視します。その上で当病院としてみなさまの情報を守るために適切な手続がとられるように検討します。

詳しくはウェブページをご覧ください。



阪大病院データバンク

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-aim/databank/>





データを提供する際に 情報を保護するために取られる手段

診療情報データの提供を行う際には、提供データから個人が特定されないように最大限の配慮をします。提供データにあなたの名前や住所が含まれることはありません。プライバシーを厳重に保護して研究を進めるため、個人情報の漏洩などにより、あなたが実際に損害をこうむる可能性は極めて小さいと考えますが、万一の場合は、誠心誠意対応することをお約束します。

個人情報保護法等の遵守

「阪大病院データバンク」で収集、管理、利用・活用するあなたの診療情報について、「個人情報の保護に関する法律」等の関連法規や「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、適切に取り扱うものとします。なお、「阪大病院データバンク」に同意しない場合でも、法律などに従ってあなたの診療情報を提供することがあります。

同意の撤回をしたいとき

あなたは、この文書に同意した後であっても、いつでも同意をとりやめる（撤回する）ことができます。同意を撤回しても、既に利用・活用された結果や公開された成果については消去することができませんが、撤回の申し出以後、あなたの診療情報が提供されないようにいたします。同意を撤回する場合には、担当医師もしくは相談窓口にご連絡ください。



阪大病院データバンク

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-aim/databank/>

Q

&

A

Q 「阪大病院データバンク」とは何ですか？

A 阪大病院での診療から発生する診療情報（受診歴、電子カルテ内容、検査、画像診断、処方、レセプト情報、DPC 情報等）を患者さんの同意のもとでデータバンクに蓄積し、治療法、治療薬、診断法の開発に用いるプロジェクトです。

Q なぜ協力が必要なのですか？

A 最新の人工知能 AI を用いた開発や、より多くの人に貢献する医療関連の研究開発には、多くの診療情報が必要とされます。また、最新の技術を持つ企業との連携など、民間企業・国の行政機関や地方自治体・大学



や研究機関（いずれも海外を含みます。）で協力して研究・開発を進める必要があります。ただし、現時点ではみなさまの診療情報が具体的にどのような研究開発に用いられるかはわかりませんので、具体的にどの国のどのような機関に提供するかをお伝えすることはできません。

Q どのような研究開発に使われているのでしょうか？

A みなさまの診療情報がどのように研究開発に活用されているかは、阪大病院データバンクの専用ウェブサイトから確認することができます。



阪大病院データバンク

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-aim/databank/>

Q 個人情報保護はされるのですか？

A 診療情報の取り扱いに細心の注意を払っています。患者さんの氏名や住所などの連絡先が提供されることはありません。個人を識別することができる記述等を削除（置換含む）する作業を行い、提供するデータから個人が特定されないよう最大限の配慮をするとともに、情報を利用する連携機関の情報管理体制や利用目的を厳重に審査し、一定の基準を満たした場合にのみ提供する体制をとっています。



Q 提供される情報は？ 提供されない情報は？

A 提供される診療情報は申請内容によりさまざまです。すべての情報が一律に提供されるわけではなく、その研究・開発に必要な情報だけが提供されます。詳しくは P4 をご覧ください。

はんだいびょういん からの おねがい はんだいびょういん データバンク について

どんなことを するの？

はんだいびょういんに つういん したり にゆういん したりする
 たくさんの かんじゃさんに きょうりよくしてもらって
 カルテなどのじょうほう (しんりょうじょうほう) を あつめます。



あつめた じょうほうを りょうして
 人びとの けんこうや びょうきの ちりょうに やくだてたりします。
 にほんや がいこくの ひとたちと だいがくや かいしゃで
 いっしょに きょうりよくして びょうきを ちりょうする
 くすりや びょうきを みつける きかいをつくったりします。

あなたに おねがい すること

あなたが はんたいびょういんで びょうきの ちりょうの ために
うけた けんさや ちりょうの ないようを びょういんの ひとや
びょういんがいの ひとが りようして やくだてることに
きょうりよくを おねがいします。

あなたの なまえや じゅうしょは わからなくしたうえで
りようしますので あんしん してください。



しんぱいなことは きいてください

おうちの人(ひと)と そうだんして きめましょう。
とちゅうで やめることも できます。

わからないこと こまったこと しんぱいなことが あったら
おしえてください。



そうだしつ でんわばんごう
070-2904-2150

アセント
おおむね
10～15歳

はんたいびょういん

ねが

阪大病院からのお願い

はんたいびょういん

～「阪大病院データベース」について～

どんなことを するの？

はんたいびょういん つういん

にゅういん

かんじゃ

きょうりょく

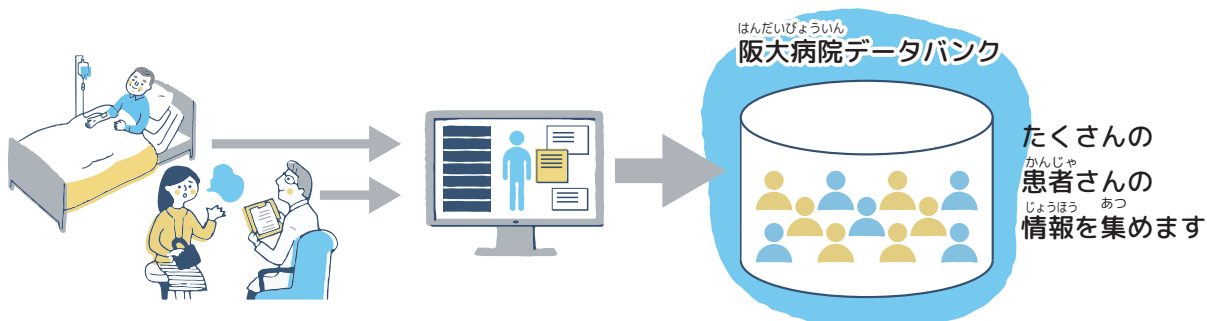
阪大病院に通院したり、入院したりする、たくさんの患者さんに協力してもらって、

はんたいびょういん

じょうほう しんりょうじょうほう

あつ

「阪大病院データベース」にカルテなどの情報（診療情報）を集めます。



あつ じょうほう

くに

ほか

だいがく

かいしゃ

ひと

きょうりょく

びょうき

げんいん

み

集めた情報は、国や他の大学、会社の人たちと協力して、病気の原因を見つけたり、

けんさ ちりょう

きかい つく

びょうき

なお

くすり

つく

ひとひと

けんこう

びょうき

検査や治療の機械を作ったり、病気を治す薬を作ったりして、人々の健康や病気

ちりょう やくだ

にほん

がいこく

ひと

きょうりょく

すす

の治療に役立ってます。日本や外国の人と協力してこれらのことを進めていきます。

にほん がいこく
日本や外国で



ねが あなたにお願いすること

あなたのこれまでとこれからのカルテなどの情報（診療情報）
のすべて（あなたの病気のことや行った検査、治療、使った薬、
支払ったお金や保険の内容、その他）を利用したり活用したり
することへの協力をお願いします。

あなたの名前や住所などが病院の外に出ることはありませんので安心してください。



しんぱい き 心配なことは聞いてください

この説明書をよく読んで、協力するかどうかよく考えてから、「確認書」に「同意
します」「同意しません」のどちらかを選んで、日にちと名前を書いてください。

また、心配なことがあったり、あなたの気持ちがかわったりしたら、教えてください。
先生やおうちの人と相談して、とちゅうでやめることもできます。

わからないこと、心配なことがあれば、AI 医療センターに連絡をしてください。

おおさかだいがくいがくぶふぞくびょういん えーあいりょう
大阪大学医学部附属病院 AI 医療センター

070-2904-2150

お問い合わせは下記までご連絡下さい。

大阪大学医学部附属病院
AI 医療センター



070-2904-2150



databank@hp-aim.med.osaka-u.ac.jp



阪大病院データバンク

本プロジェクトは、内閣府・SIP 戦略的イノベーション創造プログラム『AI(人工知能)ホスピタルによる高度診断・治療システム』(2020-2022 年度)、研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE) 「AI ホスピタルを実装化するための医療 AI プラットフォームの構築に必要な技術に関する研究開発」(2023 年度)の支援を受けています。